

## Contents

P 2-3 「2019年度NGOカレッジレポート」 P 4-5 「FUNN加盟団体インタビュー」

P 6 「コラム・活動レポート」 P 7 「イベント情報」



新しい年にむけて、出発点に立ち返つて

(特活) NGO福岡ネットワーク代表 二ノ坂 保喜

新しい年に向けて、私たちの出発点を振り返つてみましょう。NGO福岡ネットワーク（略称FUNN）はNGOを支援するNGOで、その役割から「中間支援団体」とも呼ばれます。NGO（Non-Governmental Organization）とは、開発・環境・人権などの幅広い分野において、国際協力活動を行つてゐる市民団体のことを指し、行政や企業とは違ひ幅広い市民の活動をさしてゐます。NGO活動は営利を目的としたものではなく、社会課題の解決を第一の目的として活動してゐます。

FUNNは5つのミッションを掲げて活動しています。

- その1 福岡・九州のNGOの活動を支援します。（NGOの活動や運営に関する支援）
- その2 より良い国際協力のために政府に訴えかけます。（国際協力に関する調査・提言）
- その3 市民に国際協力やNGOの活動を伝えます。国際協力に関する情報・学習機会の提供
- その4 國際協力活動を担う人材を育てます。（NGO活動に関する人材育成）
- その5 市民、NGO、企業、行政、教育機関などをつなげます。（NGO間および各種団体との連携促進）

また、FUNNは「3つのつなぐ」を合ひ言葉に行動しています。

#### 「人と世界をつなぐ」

世界で起きてゐる問題と私たちの暮らしのつながりを知り、私たちにできる関わる方や必要な知識とスキルを伝えます。具体的には、国際協力に関心ある市民や学生の出会い・交流の場「俱楽部FUNN」。グローバル・インナーを学び自分の役割について考え、判断、行動する人材を育てる連続講座「NGOカレッジ」など。

#### 「NGOに関わる人とひとをつなぐ」

加盟団体のメンバー、支援者、イベント参加者など、国際協力に関心を持つ人同士をつなぎます。NGOスタッフ向けの「ボランティア・マネジメント研修」、相談支援に加えて実現力を強化する「九州地域NGO活動助成金事業」などにも協働して取り組んでいます（NGO活動支援・連携促進など）。

#### 「NGOと他セクターをつなぐ」

世界の多様化するニーズに応えるため、市民、行政、企業の枠組みを超えた、それぞれの強みを持ち寄つて協働することが不可欠です。FUNNは、お互いの関心を惹き付け、連携に向けてのアドバイスを行う、などNGOとの協働を生み出す可能性に、積極的に取り組んでいます（連携促進など）。

これらの原点を振り返り、これから時代を担う人材の育成、組織の強化を図ることを願つています。



## 第19期NGOカレッジ 1~4回講座を開講しました

(2019年11月9日~30日)



FUNN主催の「NGOカレッジ」第19期は「あなたのそばにあるSDGs」をテーマに全5講座のうち第4回講座まで終わりました。今回はFUNNが目指す国際協力に関心のある市民や学生を対象にしたNGOカレッジの内容をお伝えします。

2015年に国連加盟国が全会一致で採択した「SDGs : Sustainable Development Goals」(持続可能な開発目標)は取り組み開始から4年となり、最近は関連するイベントや勉強会、教育現場での学習の他、個々の「ゴールを取り組みを進め自治体や企業・NPO・NGOなどが増えてきており、その認知度は徐々に高まっています。しかし、聞いたことはあつても、「難しそうでよく分からぬ」「国連とか世界のことは行政の仕事」と思っている人が多くいるのではないか?

そこでNGOカレッジでは、「そもそもSDGsとは何か」から学習を始め、17の「ゴールが相互に関係し、私たちが住む世界の現状と未来に関わっていることを実感してもらひ、その上で貧困や飢餓・環境破壊・保健医療といったこれまで主に途上国の課題とされてきた個々の「ゴールを入口に」これらの問題が私たちの日常生活と密接に繋がつてゐることを知り、「自分が」として考え、「血」の出来る行動に繋げることで頂きました。

を目標にかかげました。それぞれのテーマごとに講師をむかえ、楽しく学べる参加型のゲームやワークショップによる全5回の講座を企画、4回の講座が終りました。

次に、それぞれの講座の「17の「ゴール」との関連を示していきます。これらの「ゴールは更に169のターゲット、232の数値目標(指標)に細分化されており、掘り下げることで他の「ゴールとの関連、私たちが取り組むべき課題が更に幅広く身近に見えてくると思します。FUNNは、国際協力NGOの視点から、今後もSDGsについて掘り下げて学び、考え、行動に繋げる活動を進めて行きたいと考えています。

### 第一回講座

亀井直人氏(SDGs推進ネットワーク

i+九州代表)に「アシリテーターを務めていただき、カードゲーム「2030 SDGs」を行いました。その後の時間をたっぷりとつた振り返りを通じて、SDGsの「ゴールと私たちの生活・経済・環境・社会が密接に繋がつてゐることを体感する時間となりました。受講者からは「もっとSDGsのことを知りたい」「SDGsに取り組みたい」との声を多く頂きました。

### 第2回講座

藤井大輔氏(FUNN副代表/九州国際

大学准教授)を講師に「貿易ゲーム」を体験しました。テーマは貧困と格差。資金と技術を有し製品規格・価格もコントロールする先進国、資源はあるが資金や技術に乏しい資源国、どちらも乏しい途上国と異なる立場で

生産・販売のロールプレイゲームを通じて、貿易や経済格差・貧困の背景を実感いただきました。

### 第3回講座

神田浩史氏(NPO法人泉京・垂井副代

表)を講師に「SDGsで地方創生へ私たちの暮らしと世界のつながり」というテーマで生活圏を川の流域単位でどうぞ、森林や水田の果たす役割、林業や農業の衰退が環境に与える影響や水災害との関係、資源のリサイクルなど地域にある資源を守り活かしながら作る持続可能なまちづくりや暮らしについて考えました。



## 第4回講座

頂いたアンケート結果の一部を紹介します。

以下に第1回～第4回講座受講者から

喜氏との対談を行います。

最終回の第5回は2020年1月25日（土）に安田菜津紀氏（フォトジャーナリスト）による特別講座を行います。「世界の平和をつくる取組について考える」をテーマに、NGO福岡ネットワーク代表二ノ坂保

## 第5回講座

NPOバンダラデシュと手をつなぐ会代表が講師。普段は地域の在宅医療にも関わっています。「世界の貧困といのちを考える「自らの命は自らの手で」というテーマでバンダラデシュでの医療支援活動や終末医療などについての講演の後、人生の最期にどう在りたいか、どう生きるかを考える、「もしバナゲーム」を体験しました。



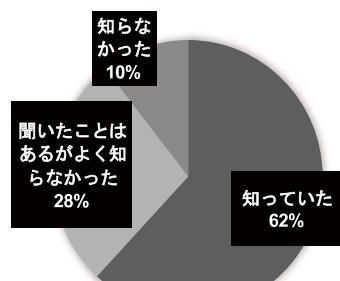
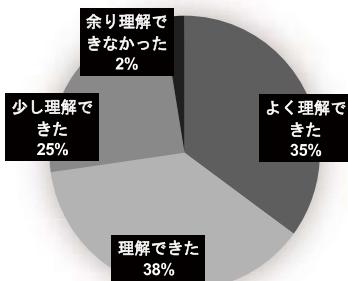
## &lt;受講者の声&gt;

- 初めてSDGsについて学びました。2030SDGsゲームを体験し、沢山の気づきがありました。学校でももっと伝え行くことが大事だと感じています。
- 自分のことだけでなく、周囲の国々がどのような状態にあり、どんなことをしているのか、しっかり知ることも大切だということが分かりました。
- 今日の深刻な気候変動などから、さすがに何かするべきことがあるのではないかと考えるようになりました。SDGsに行き着きました。ただ、SDGsについて学内で学ぶ機会があまりなかったので、今回このような形で参加できてとても良かったなと思いました。
- 地方創生と聞いて、私が常日頃考えている環境問題などとはあまり結びつかないと思っていたが、意外とすべ

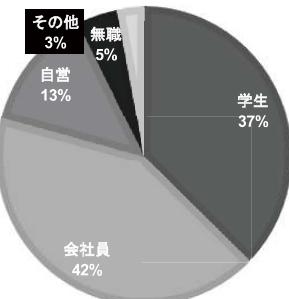
て結びついているのだなということを知れて、大変勉強になりました。

- いろんな世代の人たちとお話できる機会があまりないので、そういう意味でもとてもいい機会だと思います。
- 二ノ坂先生が物事に向き合われているお姿に感動しました。もしバナゲーム、とても良かったです。ぜひ家族でやりたいと思います。
- もしさばなゲームはとても興味深かったです。私は小学生から高校生向けにSDGsワークショップを行っていますが、もしさばなゲームはSDGsのバックキャスティングの考え方にも共通すると思いました。中高生にもワークショップでやると面白いと思います。

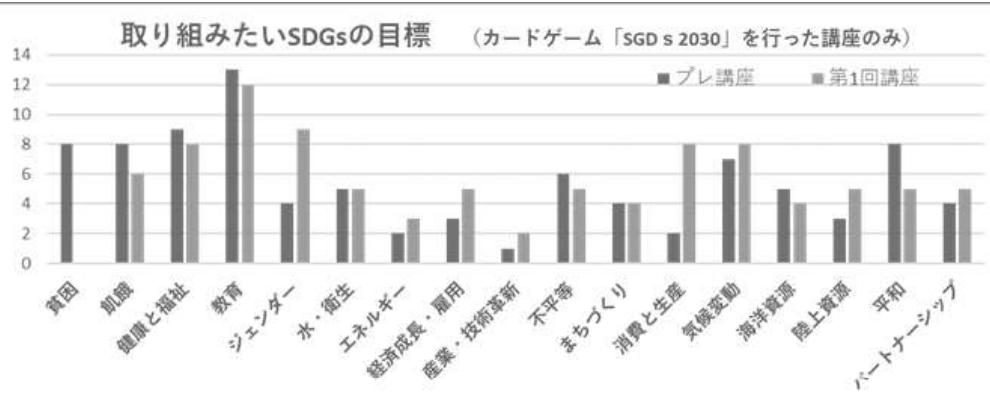
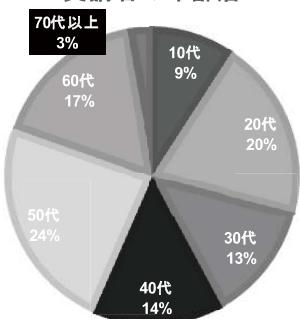
## 講座を受けてSDGsについて理解 講座に参加する前はSDGsについて知っていましたか？



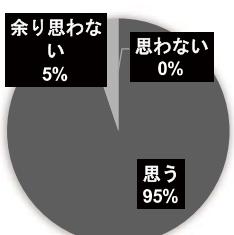
## 受講者の職業



## 受講者の年齢層



## SDGsについて、もっと学びたい・知りたいと思われますか？



## 加盟団体インタビュー

### PP21ふくおか自由学校



「お酒の社会学」の様子

幅広いテーマで講座を開催されています。どうやって企画されてるんですか

年最初に、その時集まつたスタッフで2万人以上の方が参加する講座を実施し続けている「PP21ふくおか自由学校」の事務局長の大山さんによインタビューしました。

「お酒の社会学」の様子

今回は1990年6月に開校しこれまでに2万人以上の方が参加する講座を実施し続けている「PP21ふくおか自由学校」の事務局長の大山さんにインタビューしました。

スポーツと愛国心、8年目のフクシマ外国人労働者社会を動かすアート・カネミ油症種子法、「バラバラのように見える講演テーマ。しかしこれらはすべて同じ団体が行っている講座です。

ある議題に対して、賛成、反対の双方が参加する会もあります。種子法廃止をテーマにした会には、いろんな意見を持つ方が集まりました。単に反対するということではなく、私たちがこれまで日本

・自由学校は、学び、共感する場です  
・自由学校は人とつながる場です  
・自由学校は自分たちで作り出す場です  
※ウェブサイトより「自由学校とは」

#### どんな反応

講座は単に座って話を聞くものだけではなく、スタディーツアー、ライブ、演劇的な形のものもあります。また、実は私たちの企画は「講演」でなく「問題提起」なんです。単に一方的に話をするのではなく参加者の皆さんにもそれぞれが想いを発信してほしいと考えています。こうした中からまたスタッフが生まれ、気兼ねなく表現できる風通しのいい社会にならうとしています。

講座は簡単に話をしていません。なぜ被害者はつらい目にあってしながら、声を上げにくいのか。被害者でない者はその声を聞き続ける必要があるのではないかと考えています。外国人労働者の問題を含め、講座の参加者の中から、その活動や裁判を支援する人が出てきていくのは嬉しいことです。講座の様子はふくおか自由学校のホームページで見ることが出来ます。



「高島&軍艦島ツアー」の様子

#### PP21ふくおか自由学校

〒815-0037

福岡市岡山市南区玉川町1-16 鍼灸院えんあん内

TEL:090-4357-7596 (藤岡) / 080-6406-9251 (大山)

E-mail:ohyamaya@rochou@yahoo.co.jp

ウェブサイト: <http://fukuokafreeschool.web.fc2.com/>

スタッフでその年度のテーマを決めるのでですが、現在在籍しているボランティアスタッフの13名は職業も世代もバラバラです。それでいろいろなテーマが生まれるんです。ただ、基本となるのは人権問題・環境問題・アジアや世界との関わりです。

2019年度は人権・環境問題の被害者の話を聞く機会が多くありました。福島からの避難者、ハンセン病家族訴訟の原告、カネミ油症の被害者など。被害者として名前が出せない、病気のことも話せないなど、まだまだ差別は続いています。なぜ被害者はつらい目にあってしながら、声を上げにくいのか。被害者でない者はその声を聞き続ける必要があるのではないかと考えています。外国人労働者の問題を

いろいろな問題があり、それが世界とつながっていることに気づきました。例えば、2001年の9・11の後、アメリカはアフガニスタンとイラクで戦争を始めました。私たちは戦争を止めるためにデモやアメリカ大使館前の行動も参加しましたが、結局戦争を止められなかつた。その結果が現在の中東やアジア、アフガニスタンの混乱の大きな要因になつているのではないか。海外への協力も必要ですが、自分の身近なところも変えていく必要があると考えています。

#### 最近のテーマは

2019年度は人権・環境問題の被害者の話を聞く機会が多くありました。福島からの避難者、ハンセン病家族訴訟の原告、カネミ油症の被害者など。被害者として名前が出せない、病気のことも話せないなど、まだまだ差別は続いています。なぜ被害者はつらい目にあってながら、声を上げにくいのか。被害者でない者はその声を聞き続ける必要があるのではないかと考えています。外国人労働者の問題を

援助に関わっていない、FUNN加盟団体の中では異色の団体です。でも、相互に情報交換を行なっています。FUNNに関わるみなさんにも様々な問題を発信させてもらっています。FUNNの会報を見て講座に参加したという方もいらっしゃいます。

私自身若いころは、海外協力のほうに興味がありました。ところが、自由学校での出会いを通して、身近にもい

チベットを知る会

みなさんはチベットと聞いてどんなことをイメージされますか？

独特なチベット文化や自然・仏教というのももありながら、一方、弾圧・生命であつたり、多くの人が当局に拘束されるといった人権問題が日々ニュースになっています。

団体設立のきづかけは

国による弾圧で数百名のチベット人が命を落とす事件がありました。その事件を知った時に、黙つて見ていてはないとインターネット上で呼びかけ合い、活動を始めることとなりました。最初の活動は福岡市天神の警固公園でのパネル展。日本人はもちらん、外国人の方も立ち止まり関心を持っていた。だいたいことが印象的でした。



チベットの現状とは

心うごめたチベットの現状を知つて  
もういちど立ち上がり、「チベットを  
知る会」の太田さんにインタビュー一  
ました。

チベットに住むある人が現地の人の生の姿を撮影し国外に伝えたところ、中国当局に拘束されました。不衛生な監獄内での拷問でB型肝炎に感染し、満足な治療を受けることすら許されないままでした。そこ

従業員10名募集  
中国人 50元  
チベット人 30元

The sign reads:  
10 workers wanted  
Chinese 50 yuan  
Tibetans 30 yuan



求人の広告。中国人とチベット人で給与が違っている。

で中国の弁護士が彼を探したのですが、政府からストップがかかりました。刑期の6年が経過し監獄から出ては来れたのですが、その後も公安が毎日様子を見に来るなど監視が続きました。

これがチベットでは当たり前の出来事としてどうぞうなれていくんですね。このことも多くの方に知つてもらい、一緒に考える機会が作れたらうと考えてします。

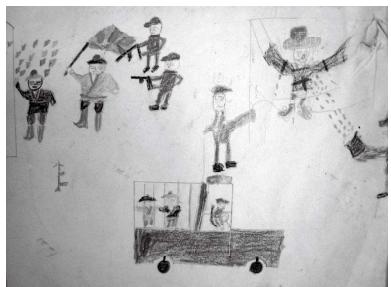
これまでの活動は

在日チベット人やチベット問題に詳しい中国人作家、チベットの歴史・文化を専門とする学者による講演会を行っています。また、チベット関連のニュース配信、「キュメンタリー」映像の上映会。アムネスティ等の人権団体や、海外のチベット支援団体によるチベットの現状改善を求める署名活動等への協力などを行っています。

一つには魂が一つ宿つてるので、魚卵やシラスなどは一度にたくさんの命を奪つてしまつことになるからです。

チベット歴の新年のお祝い、料理教室、講演会を予定しています。チベットの人々は魚卵を食べません。チベット仏教の考え方では、生命一つには魄(うづき)ついているので、魚

今後の活動予定



## チベットの子供が描いた絵。

現在はチベットの人権問題を知つても、うつことをメインの活動としています。ただ、ゆくゆくはその問題が解決され、その独特的な価値観や文化を知るための交流をメインとする活動にシフトできたらと考えています。



## チベットを知る会

〒810-0055  
福岡県福岡市中央区黒門6-41 アンピールメゾン黒門403  
TEL : 090-5725-4770 / Mail : info@abouttibet.net  
ウェブサイト : <http://abouttibet.net/>  
Facebookグループ :  
<https://www.facebook.com/groups/1323353107782626/>

＜イベント情報＞  
「チベット暦の新年を祝う交流会」  
日程：2月23日（日）  
詳細は後日ホームページに掲載

# 未来の地球のために！あなたの身近にある国際協力

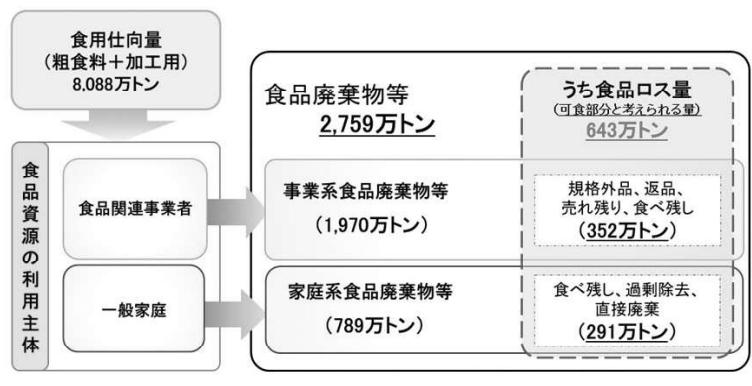
1993年、冷害により日本で米が不足し、タイから米を大量に輸入しました。残

## テーマ：食品ロス

お正月に節分、クリスマス、日本の年間行事には定番の食品があります。スーパーにはそれぞれの行事の食品がぎっしりと並びます。売り上げのために大量に仕入れた結果、売れ残りのケーキや恵方巻が大量に廃棄されることが毎年問題になっています。

2017年の農林水産省の資料によりますと、日本では年間2759万トンの食品廃棄物などが出されています。このうちまだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は643万トン（この内、事業系が352万トン）。一般家庭が291万トン）。これは世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量の約1.7倍に相当します。

日本の食料自給率は38%と先進国中最下位。逆に世界最大の食糧輸入国（金額ベース）です。食料の6割以上を輸入に頼りながら、一方で大量の食品を廃棄しています。



私たちの身近な「食」の現場にも、世界とのつながりがあります。FUNNが実施している食事付きの学びと交流の場『俱楽部FUNN』では残った料理をお土産にして帰っています。私たちの未来のため、世界の飢餓をなくすため、まずは「食べ物を大切に、残さず食べる」ことから始めてみませんか。

12月13日(金)に、中村哲氏を偲ぶ会を開催しました。



多くの人々、なかでもNGO関係の方々の嘆き、悲しみは大きいものがあります。

この日はFUNN忘年会の日でしたが、予定を変更して中村哲さんの生き方や功績を振り返りながら中村哲さんとこれまでにかかわりのある方、会ったことはないが講座や著書などで感銘を受けていたという方など、参加者それぞれの想いを語りながら国際協力やNGO活動について見つめなおす場となりました。

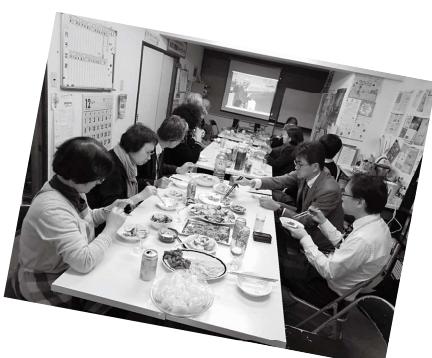
## 【訃報】12/4(水) ペシャワール会 中村哲さんがアフガニスタンで銃撃され亡くなられました。



中村哲さんの訃報に接し、私たちNGOの仲間として、深い悲しみに沈んでいます。ペシャワール会のみなさま、現地のみなさま、そしてご家族のみなさまの悲しみを思い、心からのお悔やみを申し上げます。

中村哲さんの志を私たちも少しでも引き継いで活動ていきたいと思います。

(特活) NGO福岡ネットワーク 代表理事 二ノ坂 保喜



# Event Information

## アジア女性センター

### 1/11 シリア難民女性と子どもにおきたこと

2011年に始まった中東での民主化運動「アラブの春」。シリアでは、政府軍が民主化運動を爆撃などの軍事力で抑圧しようとしたことにより、約560万人が隣国などへ脱出し、難民生活を送っています。この状況について講師からの報告とともに、遠く離れた私たちにできることを一緒に考えてみましょう。

■日時：1月11日（土）13:30～16:00（開場13:00）

■場所：福岡市男女共同参画推進センター・アミカス2F視聴覚室  
(福岡市南区高宮3-3-1、西鉄天神大牟田線高宮駅西口そば)

■講師：松永晴子さん（国境なき子どもたち）

■参加費：1000円

■申込方法：

- ・メール：[awc-a@atlas.plala.or.jp](mailto:awc-a@atlas.plala.or.jp)
- ・TEL&FAX：092-513-7333（平日9時～17時）

[https://ngofukuoka.net/event\\_20200111/](https://ngofukuoka.net/event_20200111/)

## 特定非営利活動法人 バングラデシュと手をつなぐ会

## 事務所移転のお知らせ

2019年10月15日、23年間お世話になつた西新事務所から「福岡市早良区野芥」に移転しました。手をつなぐ会は、「事務局移転を機に地域の人たちに国際貢献NPOを理解してもらう取り組みを行っていくとともに、共有スペー

スに同居し、こども食堂を運営する「わんらいふ」の活動を側面から支援し、双方の施設が地域に開かれた場所として定着するよう取り組んでいきたい」と思っています。

新住所：福岡市早良区野芥6-46-7 共同事務所「野芥フリーhaus」内  
TEL：092-407-7701/FAX：092-407-7702

### 2/9 バングラデシュ料理教室

■日時：2月9日（日）10:00～15:00

■会場：福岡市健康づくりサポートセンター（あいれふ）  
(福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号)

■定員：40名

■参加費：一般：1,500円/小学生 無料  
中高校生 半額

## NGO福岡ネットワーク

### 1/25 第19期NGOカレッジ

【第5回目 特別講演 世界の平和をつくる取組について考える】

■日時：1月25日（土）14:30～16:30

■講師：安田 菜津紀 氏（フォトジャーナリスト）

■定員：200名（先着順。残席わずか）

■参加費：無料

第1部（45分）講演「故郷から逃れ、生き抜く人々」

第2部（45分）対談「安田氏（フォトジャーナリスト）×二ノ坂氏（NGO福岡ネットワーク代表）」

[https://ngofukuoka.net/19th\\_n-go-college-2/](https://ngofukuoka.net/19th_n-go-college-2/)

2/7

## NGOカレッジ受講者による発表会

NGOカレッジ受講者から3名にそれぞれのSDGsへの取り組み事例を発表して頂き、後半はお茶を飲みながら参加者全員でSDGsが目指すゴールに向けての取り組みについて話し合います。

■日時：2月7日（金）19:00～21:00

■会場：福岡市博多区博多駅前3-6-1小森ビル4A福岡NPO共同事務所「びおとーぶ」内

■定員：20名（先着順）

■参加費：500円（資料代等）

■詳細及び申込方法：FUNNのホームページに掲載します。

## 助成金情報

### 世界の人びとのためのJICA基金

持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、本基金を活用した開発途上国・地域の人びとを支援する活動提案を募集します。

■受付期間：～2020年1月31日（金）

■応募方法：

「活動提案募集要項」をご確認の上、「活動提案書」を作成し、ご提出下さい。

<https://www.jica.go.jp/partner/private/kifu/index.html>

★国際協力の最新情報は  
メールマガジンで  
チェック！



## 正会員団体 (25団体)

- \*(特活)ISAPH
- \*アジア開発銀行福岡NGOフォーラム
- \*(特活)アジア女性センター
- \*(特活)明日のカンボジアを考える会
- \*認定NPO法人ACE
- \*(特活)エスペランサ
- \*NGO Earth for Children
- \*(特活)九州海外協力協会
- \*債務と貧困を考えるジュビリー九州
- \*佐賀NGOネットワーク
- \*JVC九州ネットワーク
- \*(特活)じやっど
- \*認定NPO法人ソルト・パヤタス
- \*認定NPO法人地球市民の会
- \*チベットを知る会
- \*NPO法人トゥマンハティふくおか
- \*(特活)NICE
- \*国際協力NGO NESTEP
- \*ネパール歯科医療協力会(ADCN)
- \*(特活)パングラデシュと手をつなぐ会
- \*PP21ふくおか自由学校
- \*福岡YMCA
- \*フレンズ国際ワークキャンプ九州
- \*（一社）ミドリゼーションプロジェクト
- \*モザンビークのいのちをつなぐ会

※2019年12月31日現在

## 編集後記

加盟団体さんへのインタビューコーナーの取材を担当しました。今回、改めてお話を聞くことで意外なきっかけで団体が立ち上がってたんだ！そんな活動もしているんだ！と新しい発見もあり、楽しくインタビューさせていただいております。【編集：住本】

昨年多くの皆様にご支援・ご協力を頂きましてありがとうございました。本年もよろしくおねがいします。

【FUNN事務局一同】



## 福岡で活動する国際協力NGOのネットワーク

NGO福岡ネットワーク  
FUKUOKA NGO NETWORK (FUNN)

# FUNN

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前3-6-1 小森ビル4A 福岡NPO共同事務所「びおとーぶ」内  
TEL/FAX: 092-405-9870 Email: funn@ngofukuoka.net URL: <https://ngofukuoka.net/>

◆◇NGO相談を受け付けています（外務省委嘱）◆◇◆

\*火～土 13:00～18:00 \*日・月・祝…休み

\*事務所を留守にすることがありますので、ご来所の際はお電話くださると助かります。  
※専用駐車場がありませんので、自動車での来所は、ご遠慮ください。

## FUNN 応援寄付 募集中！

2020年に、NGO福岡ネットワーク (FUNN) は設立から27年を迎えます。27年前の福岡で、NGO活動に関わる人たちが横のつながりの重要性を感じてFUNNは設立されました。これまで多くの方々のご支援により、福岡や九州を中心としたNGO間や他セクターとのネットワークの構築、地域のNGOや国際協力活動の活性化、市民の国際協力への参加促進等の事業を行ってきました。ご支援いただいております皆さま、本当にありがとうございます。

これからもFUNNは、NGOへのサポートや多様なネットワーク構築等により、地球規模課題の解決を目指していきます。国際協力のこれからを考えること、市民の皆様や他セクターとNGOを繋げることに注力していきます。皆さまのご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。

### ご入会のお願い

NGO福岡ネットワークは、NGOとネットワークを作り、会員団体には組織基盤・活動実施能力向上のための研修・学習会、市民の方々にはNGO活動の内容をお知らせし、ともに考える各種活動を行っております。FUNNでは活動を継続して支えてくださる会員を募集しています。会員の方には「国際協力ニュース」を隔月郵送しています。

- ◆正会員 団体 10,000円／1口: FUNNの目的に賛同して入会する団体
- ◆賛助会員 企業 30,000円／1口: FUNNの目的に賛同してそれを支援する企業
- ◆賛助会員 団体 10,000円／1口: FUNNの目的に賛同してそれを支援する団体
- ◆賛助会員 個人 6,000円／1口: FUNNの目的に賛同してそれを支援する個人
- ◆通信会員 3,000円／1口: 機関誌の定期購読のために入会した団体や個人

### ★会費・寄付の振込先

郵便振替口座名: NGO福岡ネットワーク 口座番号: 01790-7-89478

※入会のお申込みは、下記連絡先までお問い合わせください。

TEL/FAX: 092-405-9870 Email: [funn@ngofukuoka.net](mailto:funn@ngofukuoka.net)

### 【お詫びと訂正】

前号vol.133の1ページ目の発行月の表記が「August」となっておりました。  
正しくは「November」です。お詫びして訂正いたします。

